

やれもん



題字 大重八重子さん



「人として何を軸にしてどう生きるのか？」

一般社団法人タウンスペース WAKWAK

理事兼事務局長 岡本 工介

見渡す限りの大平原、夜になればプラネタリウムでみるような満天の星空が広がる場所。私は20代前半から気づけば20年以上、アメリカ、サウスダコタ州にあるネイティブ・アメリカン居留区に毎年訪れラコタ族の人たちとの親交を深めています。20年なので単純に考えて1歳の子が二十歳、それだけの年月を経るともう第2の家族そのものです。

ここで少しネイティブ・アメリカン(差別的な呼び方としてはアメリカインディアン)についてふれておきたいと思います。一言でネイティブ・アメリカンといっても本当に数多くの部族があり独自の生活様式や文化、言葉が存在します。例えば、ナバホ族やホピ族などの定住型の農耕民だった方から、私が長年生活しているラコタ族などの平原で狩猟民だった方もおられ、ほかにはアパッチ族やイロコイ族、モヒカン族など多様な部族が存在します。

その中で有名な言葉や考え方も数多く残っています。例えばチーフ・シアトルの言葉もそ

の一つです。

「ワシントンの大統領は土地を買い取ったという言葉を送ってきた。しかしあなたはどのように空を売ったり買ったりできるだろう。あるいは土地を。その考えは我々にとって奇妙なものだ。もし我々が大気の新鮮さを持たないからといって、あるいは水のきらめきを持たないからといって、それを金でかえるものだろうか？」(合衆国政府に土地を譲った酋長の名前が記念として現在のシアトル市と命名された。)

また、西暦1000年頃、イロコイ連合を建国したピースメーカーの言葉も有名です。

「首長たちよ いつまでも己のことばかり考えていてはならない

いつまでも己の世代のことだけを考えていてはならない

子孫の代のことを考えるのだ 子々孫々まだ見ぬ子どもたち

大地から生まれてくる子どもたちのことを考えるのだ」



これは何かをするとき七世代先のことを考えて実行するという考えです。

日本の多くの人(年代は上の方になります)がイメージされるのは西部劇に出てくる先住民の姿です。19 世紀、アメリカ政府による西部開拓時代の中で白人優位主義のもとで結んだ条約の破棄や武力による虐殺などが起こった時代、その悪者や野蛮人として扱われたのが先住民の人たちでした。その中で先住民の人たちが長い年月をかけ培ってきた伝統的文化や言葉、儀式が時のアメリカ政府によりことごとく破壊されました。その中で多くの先住民の人たちが差別の結果による様々な不利を被ることになりました。条件の悪い土地への強制移住政策、同化政策(ボーディング・スクール寄宿学校)などは先住民としての尊厳、文化を奪う政策そのものでした。その後、1960 年代に起こった「黒人公民法運動」に続いて「レッドパワームーブメント」(アメリカ先住民権利回復運動)が全米で起こり、1975 年には政府は先住民の自己決定の権利を認めることとなりました。

しかしながら、長年の政府による迫害は多くの影を落としています。例えば現在、自殺率は全米の中でも先住民の居留区が常にトップ(特に若者層)、仕事がない(失業率の高さ)、アルコール依存症の問題など数々の問題が居留区には起こっています。

一方で、そのような逆境の中でも伝統的な生き方を守り先住民としてのルーツを大切に、アイデンティティを築いている人たちと私は出会い、生活してきました。私が長く生活

をしているのはもともと平原にてバッファローを狩猟しながら移住生活をしてきたラコタ族という人たちでアメリカ政府による迫害に対し最後まで抵抗した部族でもあります。映画好きな方であれば 10 数年前に作られたケビン・コスナーが主演の「ダンス・ウィズ・ウルブズ」という作品が放映されましたが、その舞台ともなった場所です。そのラコタ族との 20 数年におよぶ生活の中で私が学んだことは「マイノリティといわれるところには社会の縮図として様々な課題が集積する」ということであり、なによりも学んだのは「人生において人として何を軸にしてどう生きるのか?」ということでした。2008 年に再び生まれ育った高槻富田地区にて活動(一般社団法人タウンスペース WAKWAK など)を始めていますが地域に再び帰る際に持ち帰ったものがありました。それは、「Community Of Trees(雑木林が育つ森を創造する)」という夢でした。ラコタ族の人たちは木を人の生き方に表します。森に行けばまっすぐに立つ杉のような木もあれば、傾斜に種が落ち、バランスを持ちながら立つ木、岩に根っこをからませながら立つ木、育ちの中で雷をうけてへしゃげながらも立っている木があります、それらの様々な木々が集まって森(コミュニティ=地域)が形作られています。まさにそんな多様な木々(人々)が共生する地域を生み出したいという夢でした。

現在、タウンスペース WAKWAK の事務局長として高槻市域全域を対象に事業を行っています。そこで目指すのは「居場所の包括連携によるモデル地域づくり」、市域全域に



おいて制度からともすればとりこぼれがちな社会的不利を抱える子ども、高齢者、障がい者、海外ルーツの人たちなども取りこぼすことのない地域づくりです。当事業の食支援においては NPO 法人高槻ライフケア協会の理事長石名田さん、副理事長橋本さんをはじめ役

員のみなさまにも多大なご支援を頂いております。

おわりになりますが日頃のご支援に感謝するとともに引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして



はじめまして。昨年 10 月にあすなろに入職してもうすぐ 1 年になりますが、毎日 ドリフターズのコントのようなやり取りを、利用者様としています。皆さんと外出やレクリエーションで体や頭を動かして少しでも楽しんで頂こうとあれこれ考えながら一人でワクワクしています。慌てん坊の私ですが、手際の良い利用者様方に手伝って頂きながら何とか日々過ごしています。温かく見守って頂き感謝しながら少しでも成長していければと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。

佐藤 里美



はじめまして。6月より高槻ライフケア協会サービス提供責任者として、従事させて頂いています大本と申します。今まで、様々な福祉の仕事をして参りましたが、こちらでお世話になって、やはり訪問介護の仕事が一番好きだと思う毎日です。高槻はとても住みやすい街だと思います。なぜなら、高齢者、障がい者、子育てなど、あらゆる福祉が充実しているからです。今後も、高槻ライフケア協会および、高槻市の福祉の一片を担うことが出来るよう、頑張りたいです。

大本 佳代



はじめまして。18 歳の時に、くらし創造の家 朋(とも)に入職して一年半が経ちました。家族に障がい者があり、福祉に興味を持ち、就職先を探していたところ、アットホームな雰囲気惹かれてこの施設を選びました。介護は初めてで分からないことだらけでしたが、先輩方が優しく丁寧に教えて下さり、毎日の勤務がとても楽しいです。

平井 心響

訪問介護

Mさんのケアが始まったのは7月の初め、最初はなかなかMさんの意に添えずむずかしい事がありました。

ある日、Mさんがむかし板前さんをしていたことを聞き、「Mさん、夏のおいしいものってやっぱりハモでしょうかね。」と話す。「あれは包丁がなかなか入らず、骨切がむずかしいんや。」と目を細めて話して下さいました。

「アンコウなんかはぶら下げてさばくんや。」



「何匹さばいたかわからんくらいや。」Mさんは板前さんだった時の話をする時は本当にいきいきとされています。「料理は塩加減がむずかしいんや。ええ塩梅って言うやろ。」毎週季節のおいしいお魚や野菜の話をするのが、とても楽しみになりました。

「一度みんなにご馳走したいわ。」そう話される時のMさんのキラキラしたお顔が大好きです。(H)

小規模多機能型居宅介護 あすなろ



9月がお誕生日のご利用者が2名おられます。

Iさんに「もうすぐお誕生日ですね。」とスタッフが代わるがわる声をかけると、「もう、言わんといて！黙ってて！（シーッ）年とるの嫌やわあ。」としきりに仰っていました。ところが、当日のお誕生日会には、「こんなにすばらしいお誕生日会を開いていただいてありがとうございます。昨年はこちらでお世話になっています。私、感謝感激です。一つ年を取りましたがこれからもがんばります。どうぞよろしくお願いします。」と大きな声で、堂々たるスピーチをされました。聞いていたスタッフも拍手喝采。カロリー控えめのスペシャルショートケーキを美味しく召し上がっておられました。

Yさんのお誕生日会に、スピーチをお願い

事業所 だより

すると、「そんなん言われへんわ。年は聞かんといてや。」と恥ずかしそうに話しておられました。お菓子作りが得意なスタッフが作ったみかん&イチゴジャムケーキを味わいながらゆつくりと召し上がっておられました。どうぞ、お元気で。また、来年のお誕生日会にはすてきなスピーチをお聞かせください。

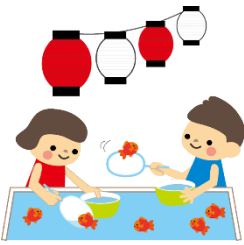




くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護

夏祭りのイベントと言えば『金魚すくい！』
子どもの頃の思い出として残っている人もい
るのではないのでしょうか？

今の時期、コロナ禍でまだ夏祭
りは実施できませんが、その雰
囲気を出そうと、小さいプール
とプラスチックの金魚を用意し
ました。何でも興味津々の O さ



んは早速挑戦しました。

制限時間15秒と設けると金魚に狙いを定め
てすくっていました。隣の N さんは控えめな
姿勢でしたが、先に行った O さんの真似をし
て「よいしょ！」と声を出していました。手先が
器用で自信満々の H さんは「まかせてや
ー！」と、すごい集中力を発揮。朋の夏は
『金魚すくい』でスタートしました。

地域交流センター あすなろ

第 18 回たかつき NPO 協働フェスタに参加

9 月 11 日(日)に開催された、「NPO 協働
フェスタ」に初参加しました。市内の NPO、31
団体の展示、9 団体のフリーマーケットが、
「今こそ広げよう NPO の輪」～みんなの笑顔
をつなげたい～をスローガンに出店し交流を
図りました。



NPO 高槻ライフケア協会地域交流センタ
ーあすなろは、市役所総合センター 屋外の
フリマエリアで、おなじみのたこ飯の素、茎わ
かめの佃煮と今回初めて指編みの販売をし
ました。指編みは編み針を使わず指だけで
する編み物で、指を動かすことで脳に良い刺
激を与えるということです。材料は、奈良県
の靴下工場で作られる靴下の生産過程で出
てくるリング状の縫製屑を使用しています。手
先の器用な S ナースの指導のもと、小多機
の利用者様とスタッフが色の選別、編み、束ね、
仕上げなど各工程に分かれて作りました。

今回は地域交流センターあすなろがその
製品をフェスタで販売することになりました。
ショルダーバッグ、ティッシュボックスカバー、
猫のおうち等々。よく売れたのはわらじでした。
売り上げは小多機あすなろの環境整備に活
用させていただきます。



研修実施報告

同行援護従業者養成研修開催！



昨年度は休止していました同行援護従業者養成研修を、一般課程6月27日・29日・30日、応用課程7月5日(火)・6日(水)に実施しました。視覚障がい者へのガイドヘルプの研修です。久しぶりの集合研修に、消毒や換気を徹底しながら開催。一般課程では、講義のあと、アイマスクをして受講生同士がペアになっておそろおそろ歩きだしました。初めての体験で、階段の昇降、エスカレーターの昇降、溝を跨ぐことなど、視覚障がい者への手引き方法、声かけの仕方、適切な情報提供を演習で学びました。受講生は「足元を見れば手引きの腕が動き、両方が上手くできませんでした。」と言いながらも、とても熱心に取り組んでいました。

暑い日だったので、水分補給も忘れずに行いました。

応用課程では、高槻市バスのご協力のもと、バスの乗降練習を行いました。そして市バスに乗って、研修会場に帰る途中、夕立にあいました。最終日は、阪急電鉄のご協力のもと、改札の通過、電車の乗降、座席へのアプローチなど実戦練習を実施。また、実際にアイマスクをしての昼食を摂りました。暑さと雨の中の研修でしたが、全員が無事修了しました。



これからは、視覚障がい者に関わり、安全で楽しいガイドを実践してくれることと思います。受講生の皆さんのご活躍に期待しています。





認知症ケア研修



7月11日(月) 高槻市認知症地域支援推進員の福井梨恵氏をお迎えし、認知症ケア研修を実施しました。認知症ケアにおいて大切な柱と、信頼関係を築くためのステップで、言語・非言語メッセージを伝えます。最期の日まで尊厳をもって暮らし、その生涯を通じて“人間らしい”存在であり続けることを支えるために、ケアを行う人がケア対象者に「あなたのことを、わたしは大切に思っています」と

いうメッセージを常に発信する、つまり、その人の“人間らしさ”を尊重し続ける状況が大切であると学びました。それぞれ受講生が、自分のケアを見つめ直し、どのような姿勢で認知症の人と接しているか、自己点検を行う大切な機会となりました。そして思い出してほしいです。どうしてあなたは介護職の道を選んだのですか。初心にかえって自己点検の一日でした。



サービス提供実績 (2022年6月~8月)

《訪問介護》

| | |
|------|------------|
| 利用件数 | 1,936 件 |
| 利用時間 | 1867.21 時間 |
| 生活援助 | 435.97 時間 |
| 身体介護 | 665.00 時間 |
| 身体生活 | 766.24 時間 |

《介護予防訪問介護》

| | |
|------|-----------|
| 利用件数 | 568 件 |
| 利用時間 | 500.16 時間 |

《ケアワーカー派遣サービス》

| | |
|------|-----------|
| 利用件数 | 166 件 |
| 利用時間 | 144.00 時間 |
| 家事援助 | 104.50 時間 |
| 身体介護 | 39.50 時間 |

《小規模多機能型居宅介護》登録人数平均

| | |
|---------------|--------|
| くらし創造の家 朋(とも) | 22.3 人 |
| あすなる | 19.6 人 |

《障害福祉・居宅介護》

| | |
|------|------------|
| 利用件数 | 2,964 件 |
| 利用時間 | 3029.90 時間 |
| 家事援助 | 1476.75 時間 |
| 身体介護 | 1271.50 時間 |
| 通院介助 | 281.65 時間 |

《重度訪問介護》

| | |
|------|----------|
| 利用件数 | 46 件 |
| 利用時間 | 91.50 時間 |

《同行援護》

| | |
|------|------------|
| 利用件数 | 493 件 |
| 利用時間 | 1191.30 時間 |

《移動支援》

| | |
|------|------------|
| 利用件数 | 539 件 |
| 利用時間 | 1126.50 時間 |

《短時間デイサービス》利用人数平均

| | |
|--------------|-----|
| 地域交流センターあすなる | 3 人 |
|--------------|-----|



♡ご協力に感謝します (敬称略・順不同) 2022年6月15日～9月30日

<社会福祉法人>

□寄附金 累計 10,000円

<後援会>

□後援会費 累計 個人会員 99,000円

法人会員 10,000円

□物品販売 累計 92,400円



＊おとひめこんぶ
550円

♣後援会の物品販売です！



＊すわかめ佃煮
130g 300円



＊しおわかめ
130g 300円



＊たこ飯の素
2合用 450円

＊コーヒー(豆、挽)
500g 1,150円(値上げしました)



✍ 編集後記

今年19歳になる息子が、一生懸命自分磨きをしています。内面ではなく外見です。化粧水、乳液、ボタニカルシャンプー、トリートメント、ヘアオイル、まさかのアイプチまで購入し、実践しています。外見は、少しずつ変

わっていくのですが、中身はなかなかなようで、「お母さん」とよく声を掛けてくれ、二人で出かけたりもします。いつまで、話しかけてくれるのだろう、と思いつつ、この時間を大切にしたいです。(K)

社会福祉法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5番7号 TEL(072)683-4945 <http://tlca.info/>